

京都北部日本海側地域における 新時代の創造について

【担当省庁】国土交通省、観光庁

京都府では、京都府北部地域の活性化に向けて、地域にインパクトを与え、太平洋側に一軸・一極集中した脆弱な国土構造を解消し、京都北部日本海側地域新時代の創造に結びつけるためのハード・ソフトの多様な施策・事業を行政、経済界、地域が一丸となった協議会を組織して推進することとしております。

そのキックオフとして平成 25 年度に取り組む中核事業の推進に当たり、以下のとおり要望いたします。

■日本海側拠点港「京都舞鶴港」の機能強化と日本海国土軸連携による我が国経済の活性化について

1 日本海側拠点港としての京都舞鶴港の機能強化

○ 京都府では平成 23 年 11 月に選定された日本海側拠点港としての機能強化などを目指して、舞鶴港港湾計画の改訂を進めているところであるが、その早期実現のため、国家プロジェクトとして京都舞鶴港の整備・振興をお願いしたい。

▶ 国際フェリー機能の強化（前島埠頭）

- ・ 国直轄事業で整備中の前島埠頭（2号岸壁）の早期整備（図面 A-①）及び埠頭北側（3号岸壁）に計画している国際フェリー一岸壁の直轄事業の指定（図面 A-②）

▶ 国際海上コンテナ機能の強化（舞鶴国際埠頭）

◎ 国際埠頭にコンテナ船やRORO船等が2船同時着岸可能な水際線の確保（直轄事業）（図面 B-①）

- ・ 国直轄で整備中の舞鶴国際埠頭への臨港道路（上安久線）の早期供用（図面 B-②）
- ・ 「港湾機能高度化施設整備費補助金*」の日本海側拠点港への活用による大型ガントリークレーンの整備

※港湾機能高度化施設整備費補助金

国が選定した国際コンテナ戦略港湾（②～阪神・京浜港）の機能強化のため、コンテナ貨物を集約していく対象となる港の荷役機械整備としてガントリークレーンの補助メニューが追加された（④～）。

▶ **外航クルーズ機能の強化（舞鶴国際埠頭・第 2 埠頭）**

- ・「**港湾機能高度化施設整備費補助金***」による、大型クルーズ船の旅客の乗降・待合等のターミナル上屋施設を整備（図面 C-①）

※港湾機能高度化施設整備費補助金

観光交流支援基盤施設としては、観光圏の玄関口となる港湾において、国際競争力の高い魅力ある観光地を形成するために、旅客の乗降、待合い等を快適にする施設の整備に関する事業が補助金の対象となる。

- ・旅客船ターミナルが整備されるまでの間における、大型クルーズ船の入港に対応した事前審査や沖乗り・先乗り審査の実施による C I Q 体制*の充実

※C I Q 体制

税関（Customs）、出入国管理（Immigration）、検疫（Quarantine）を実施する人員体制や施設

- 日本海側拠点港の機能と一体となる以下の諸機能の強化・施設整備をお願いしたい。

▶ **日本海側広域的防災拠点の整備**

- ・京都舞鶴港を日本海側の広域的防災拠点として位置付けや、太平洋側港湾のバックアップ機能を併せ持つなど防災機能の強化

▶ **エネルギー等の資源問題に対応できる拠点的功能の強化**

- ・ロシアやモンゴル等、対岸諸国の豊富な資源を背景とした製材等のバルク貨物や、LNG 等のエネルギー資源の受け入れ等の拠点整備

▶ **日本海側のアクセス道路の整備推進**

- ・京都縦貫自動車道の平成 26 年度全線供用開始の確実な実施
- ・国道 27 号西舞鶴道路等京都舞鶴港へのアクセス道路の整備（図面 D-①）

2 港湾連携による日本海国土軸の形成

- 日本海国土軸上の観光地と対岸諸国を結ぶ日本海クルーズネットワーク構築のため、日本海側拠点港が連携した取組を推進しているところであり、国において、日本海を外航クルーズの一大市場とするため、環日本海諸国間で行う連携した取組への支援などにより、外航クルーズをビジット・ジャパン事業の主要な柱としていただきたい。

＜国土交通省の概算要求＞

◎港湾整備事業（成長力強化による日本の再生） 2, 272 億円

（平成 24 年 9 月概算要求ベース）

外航クルーズ船の寄港促進のための港湾機能・サービスの向上、複合一貫輸送のさらなる効率化、日本海側港湾の機能別拠点化

◎地域の経済・社会を支える社会資本の総合的整備（社会資本整備総合交付金）

15, 056 億円（平成 24 年 9 月概算要求ベース）

「日本再生戦略」に基づくハード・ソフトの取組を強力に推進する観点から、地域経済の活性化や国際競争力の強化に資する基盤整備の推進、持続可能な地域社会の構築

【京都府の担当部局】

商工労働観光部	海外経済課	075-414-4844
建設交通部	港湾課	075-414-5304

■ 京都府北部地域の魅力の発信について

1 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業の予算の確保

- 北近畿タンゴ鉄道が、輸送サービスの基本である安全を確保し、快適な利用環境を確保・提供できるよう、**鉄道軌道、構造物、電気設備等を更新するため、補助事業を採択**していただきたい。

<平成 25 年度設備整備計画>

内 容	ATS 新設、電子閉そく装置更新、多重搬送装置更新、落石・雪覆い改良、レール更新、道床改良、橋りょう改良・補修、伏び改良、電柱更新、電力遠方制御装置更新、車両整備（車両検査、冷房装置更新、内外装更新）
事業費	6.4 億円

2 京都府北部の魅力ある観光地域「海の京都」づくりの実現

- 京都府では、府北部地域を全国有数の競争力のある観光圏とする、「海の京都 ～丹後・中丹 魅力ある観光まちづくり～」の実現のため、平成 25 年度から観光地の景観整備や観光施設のリニューアル、マーケティングや観光プロモーションなどのハード、ソフト事業を総合的な実施に併せ、**京都北部の観光圏のブランド化戦略**の取組を進めることとしており、本取組を「**観光地域ブランド確立支援事業（ブランド化基盤づくり支援）**」に採択していただきたい。

<国土交通省の概算要求>

- ◎地域公共交通確保維持改善事業 341 億円（平成 24 年 9 月概算要求ベース）

存続が危機に瀕している生活交通のネットワークについて、地域の多様な関係者による議論を経た地域の交通に関する計画等について実施される取組を支援する。

<観光庁の概算要求>

- ◎観光地域ブランド確立支援事業 2.45 億円（新規）

（平成 24 年 9 月概算要求ベース）

国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりを促進するため、地域独自の「ブランド」の確立を通じた日本の顔となる観光地域の創出に向けた取組を支援する。

京都府の現状・課題等

◆ 北近畿タンゴ鉄道が今後 10 年間に必要な施設・設備投資経費
総額 4 2 億円

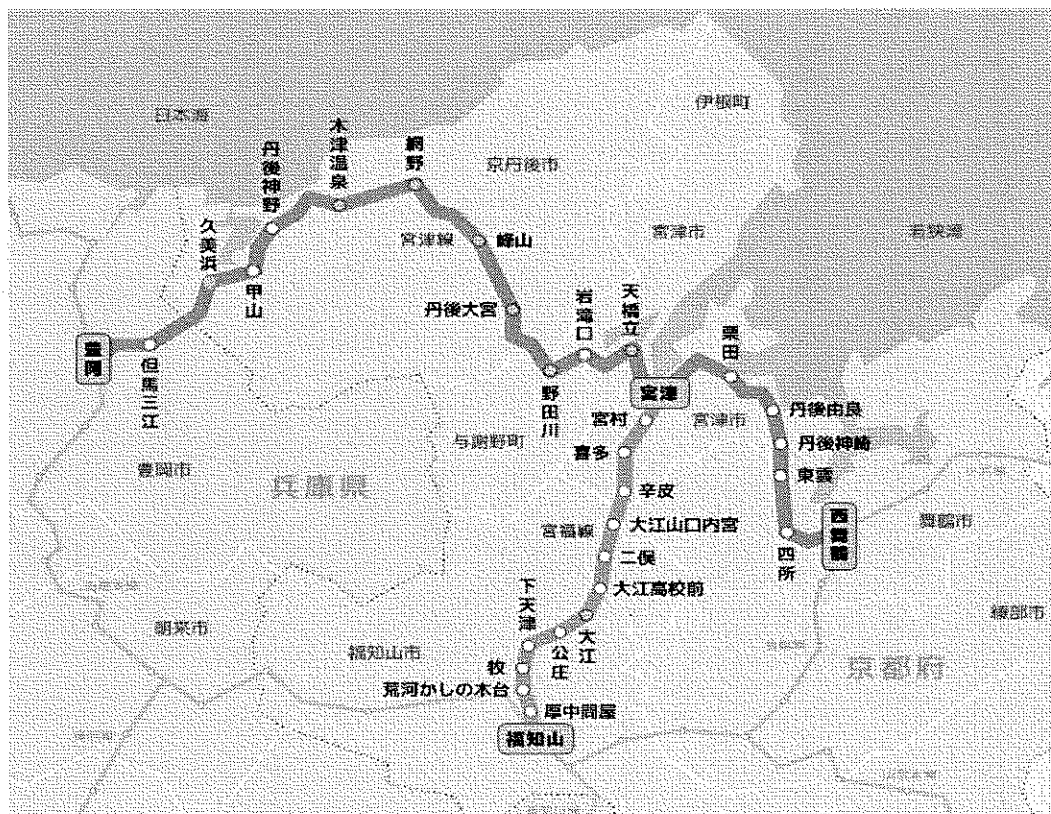
軌道・構造物関係	1, 9 6 8 百万円
電気設備関係	1, 8 1 2 百万円
車両関係	4 2 0 百万円

◆ 北近畿タンゴ鉄道の経営状況

	金額 (百万円)	順位	参 考
経常損益	△ 7 7 6	3 5 位	3 4 位 △ 2 5 1 百万円
営業キロ当たり	△ 6. 8	3 3 位	

※順位は、3セク協加盟 35 社中の順位

◆ 北近畿タンゴ鉄道の路線図



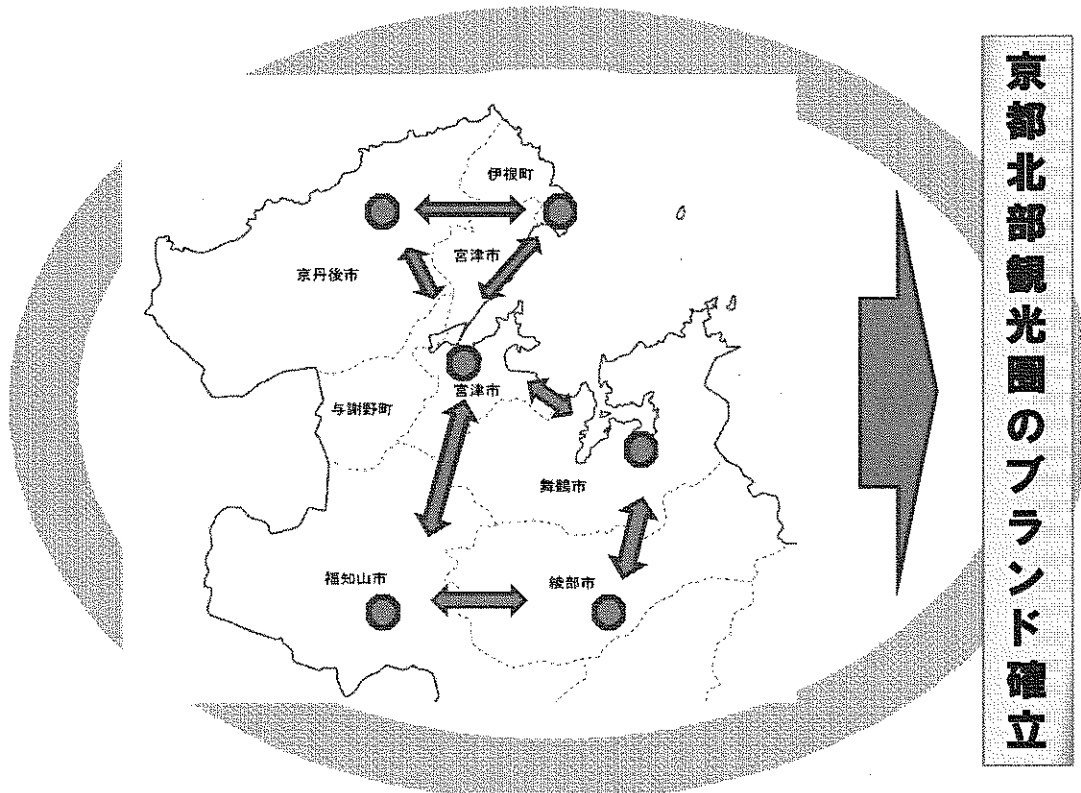
◆ 京都北部の観光圏のブランド化戦略

○ 観光圏実施計画の状況

- ・「京都府丹後観光圏」の認定（平成20年10月）
区 域：舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町
→丹後広域観光キャンペーン協議会のエリア
認定期間：平成20年10月1日から平成25年3月31日
計画主体：京都府丹後広域振興局（丹後広域観光キャンペーン事務局）
 - ・同観光圏の区域設定の変更（平成25年4月予定）
区 域：上記3市2町に福知山市、綾部市を加えた区域
→海の京都観光推進協議会
（丹後広域観光キャンペーン協議会を再編）
認定期間：平成25年4月1日から平成30年3月31日
計画主体：(公社)京都府観光連盟（海の京都観光推進協議会事務局）
- ※ 海の京都観光推進協議会予算額：58,000千円
別途、観光地域ブランド化基盤づくり支援 補助額：上限5,000千円

観光推進の考え方

「海の京都」を統一コンセプトに、戦略的・面的、観光プロモーションを展開し、ブランド力のある観光圏を創設する。



【京都府の担当部局】

建設交通部	交通政策課	075-414-4360
商工労働観光部	観光課	075-414-4835